



みんなで作ろう！

新市民体育館・新荒川公園

説明会

日時 | 2026年3月8日（日） 15:00～16:30
場所 | 熊谷市立商工会館 2階大ホール

本日のプログラム

(1) 説明

1) 事業概要

2) 基本計画策定に向けた調査分析

3) ワークショップ経過報告

(2) 質疑応答

1) 事業概要

対象地概要

まちづくりに関する計画としての位置づけ

- ◇ 第2次熊谷市総合振興計画 後期基本計画（令和5年3月）
 - ・リーディングプロジェクト：「伝統文化とスポーツにより人々が交流するまちづくり」
 - ・政策：「スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち」

- ◇ 熊谷市都市計画マスタープラン（令和4年3月）
 - ・荒川公園周辺を「都市拠点」「新スポーツ・文化・健康拠点」として位置付けている

- ◇ 熊谷市立地適正化計画（令和4年3月）
 - ・都市機能誘導区域（都市拠点）の熊谷駅周辺において、スポーツ・文化活動などの市民のレクリエーション環境の充実、交流人口の拡大を目指し、災害時の避難等、地域防災力の向上に資する機能を備えたアリーナを整備
 - ・荒川公園において、アリーナ整備との連携やPark-PFIの活用検討などにより、スポーツに親しむことができる魅力的な空間整備を目指す

対象地概要

周辺まちづくりの取組

- 熊谷駅南口エリアでは、市民の声を反映させたまちづくりビジョン策定に向けた取組が進められています。
- 熊谷荒川緑地では『熊谷市荒川かわまちづくり』が令和7年8月に支援制度に登録され、河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指しています。

熊谷駅南口まちづくりワークショップ
 ~私たちの住むまちの将来について話し合ってみませんか?~

熊谷駅南口は、市南部からの交通アクセスの拠点として、多くの人が利用するほか、閑静な住宅街や自然豊かな河川敷など様々な特色があります。本ワークショップでは、南口エリアにおける将来のまちづくりの方向性を検討します。

日時(予定): 令和7年 8月23日(土) 各回13時からです。
 10月11日(土)
 12月20日(土)

※全3回の予定で、連続して御参加いただく形式のワークショップとなります

場所(予定): 荒川公民館 ホール(宮前町一丁目24番地1)
 ※駐車場の台数が限られているため可能な限り公共交通機関をご利用ください

参加費: 無料(交通費等の支給はありません)

対象者: 熊谷市内在住、在勤、在学いずれかに該当する方

申込期限: 令和7年8月15日(金)まで

申込方法: 「熊谷市 電子申請・届出システム」での申込となります。

●問い合わせ先●
 熊谷市都市計画課 計画係 0493-39-4813

熊谷駅南口周辺まちづくりビジョン

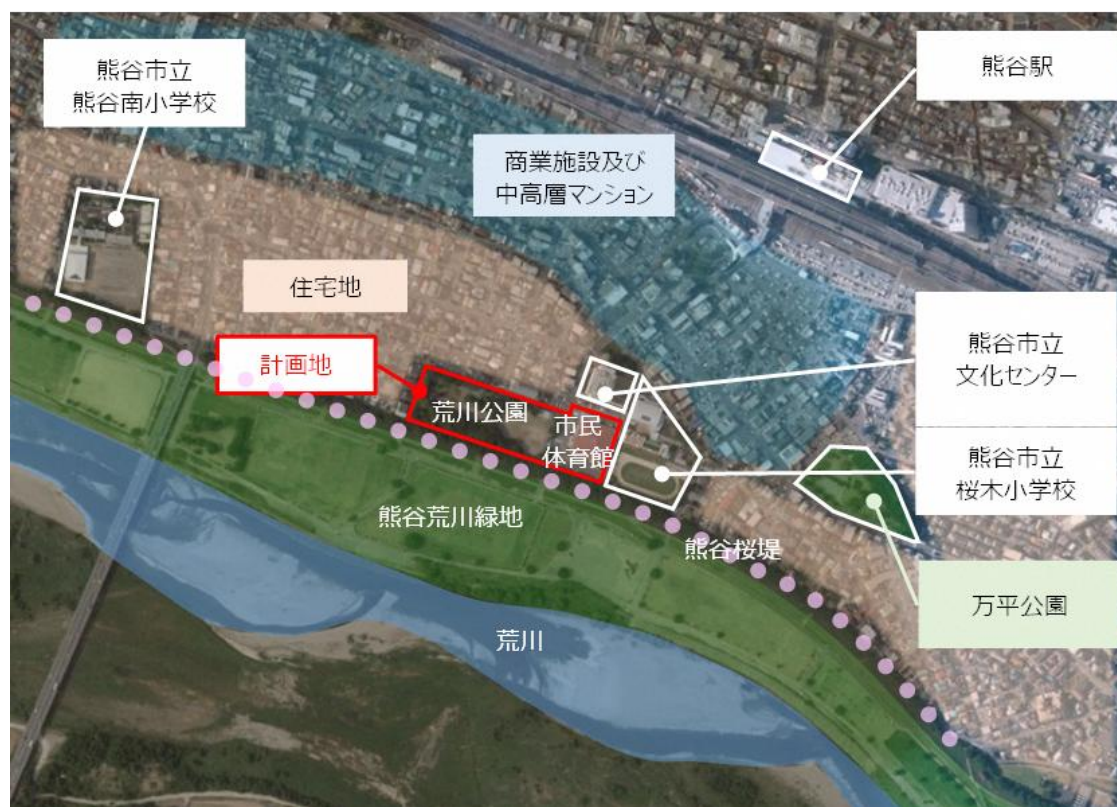


※今後、工事実施のための詳細な設計等を実施することにより、実施内容を変更する場合があります。

熊谷市荒川かわまちづくり

対象地概要

対象地の立地



【アクセス】

- 熊谷駅から徒歩 5 分

【立地】

- 市立文化センター、市立桜木小学校が隣接
- 西側 市立熊谷南小学校
- 東側 万平公園
- 北側 熊谷駅から带状に商業施設、住宅が立ち並ぶ
- 南側 荒川と荒川緑地、河川敷に熊谷桜堤

荒川公園周辺再整備の背景と課題

市民体育館は、昭和40年に建築され、令和7年度に耐用年数の60年を迎えることから施設の老朽化が進んでいます。

市民体育館の課題

熊谷市は、「実践」「応援」「協力」を合い言葉にスポーツによるまちづくりを目指し、「スポーツ熱中都市」を宣言していますが、市民体育館は「実践」として市民に多く利用されているものの、「応援」としての「みるスポーツ」について、観客席数が約1,000席と少なく、選手の荷物を置く場所も確保できないこと、大会運営に必要な諸室等が少なく、開催可能な大会等が限定されること、新耐震基準を満たしておらず耐震性能や、空調設備がないことも課題となっています。

荒川公園周辺再整備の背景と課題

市民体育館と荒川公園周辺の再整備

熊谷市では、熊谷駅からのアクセス性や利便性、荒川河川敷に近接という季節ごとの魅力を備えた荒川公園周辺エリアの魅力を生かし、老朽化した市民体育館を建て替えるとともに、開園から49年が経過した荒川公園の再整備を行うことで、「荒川公園周辺エリアのにぎわい創出」を図ることを検討します。

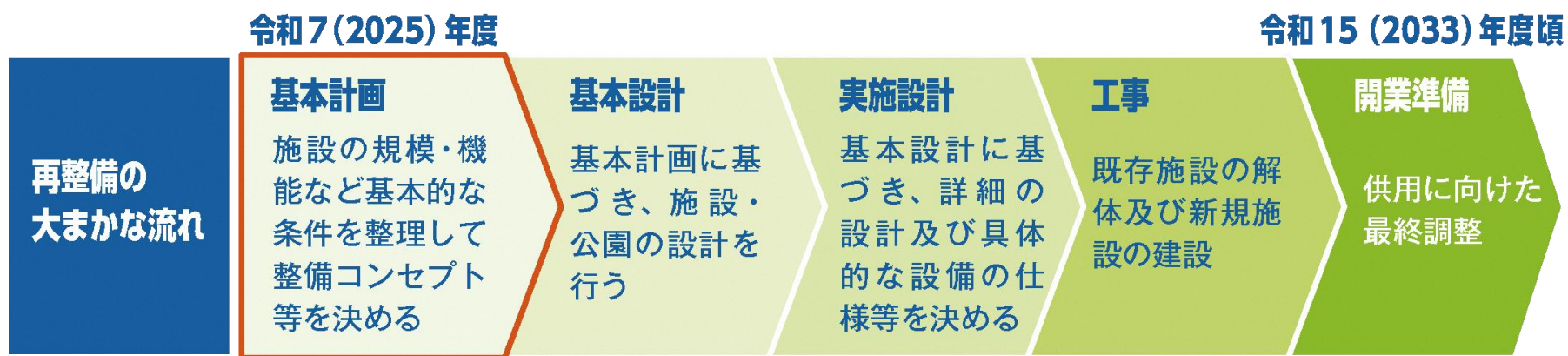
防災機能の充実を目指して

防災機能を充実させ、災害時には近隣住民はもとより、帰宅困難者も受け入れられる防災施設としても活用できるよう検討します。



再整備の流れ

再整備に向けては、基本計画、基本設計、実施設計、工事の4つのステップで進めます。
ステップ毎の検討事項は以下を想定しています。



※スケジュールは令和8年3月時点での想定です。実施時期、内容は変更になる可能性があります

新市民体育館・新荒川公園の基本計画策定に向けた市民参加での検討の場づくり

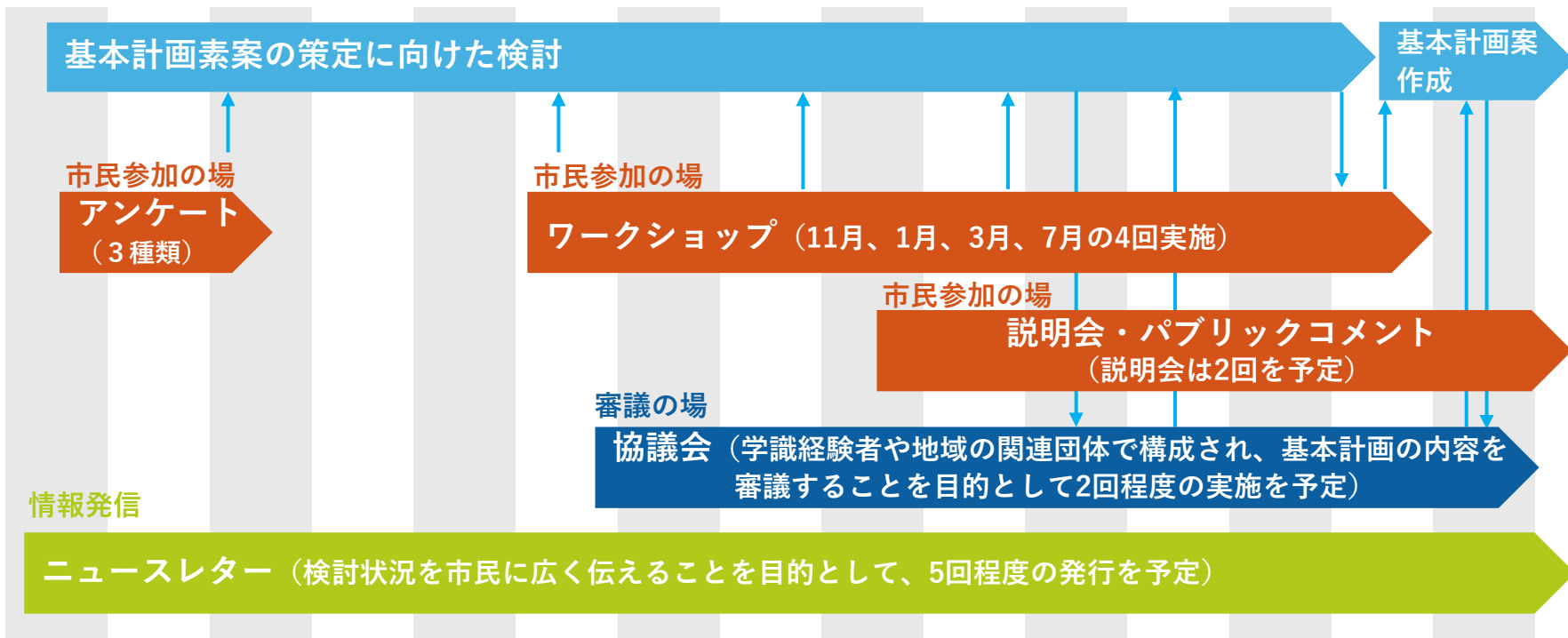


市民の皆様のご意見を生かした新市民体育館・新荒川公園にするため、3つの取り組みを行います

- 1) **市民参加の場** アンケート、ワークショップ、説明会、パブリックコメント
- 2) **審議の場** 多様な視点を踏まえて学識経験者や地域の関連団体で構成される協議会を設置
- 3) **情報発信** ニュースレターなどにより検討の状況を定期的に発信し、プロセスの見える化を図る

2025年

2026年

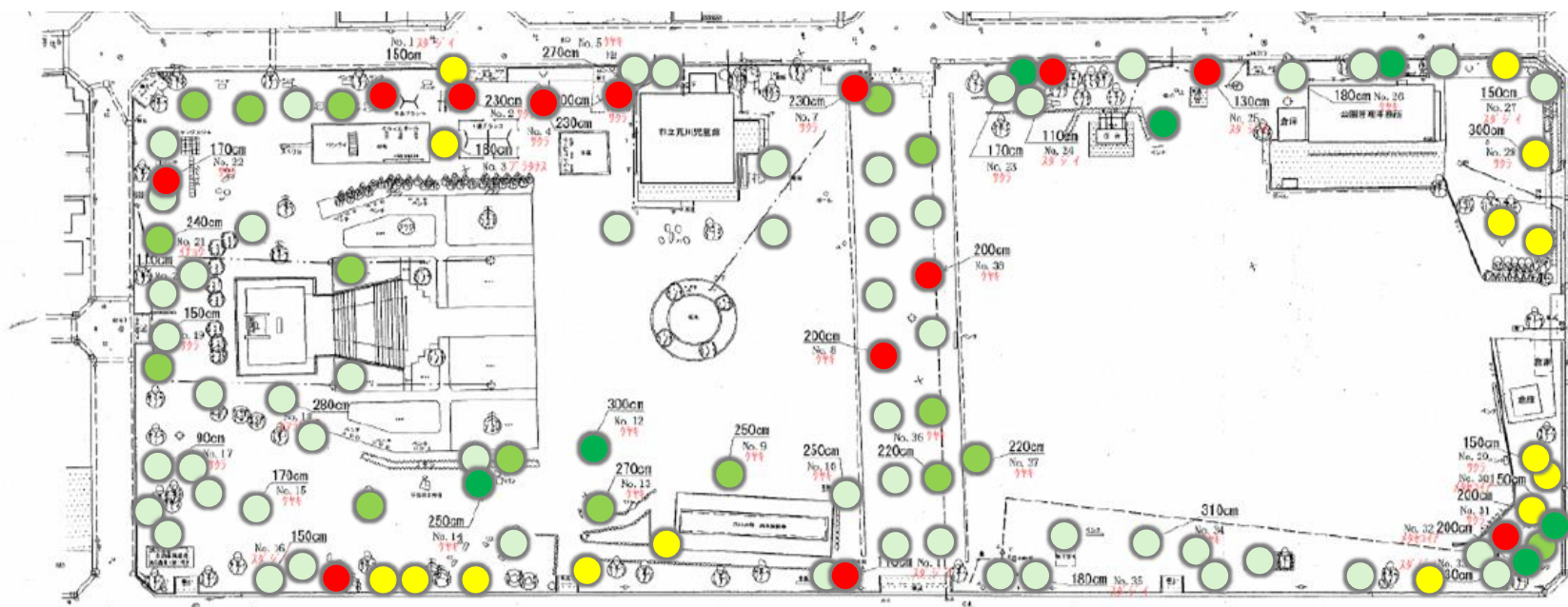


2) 基本計画策定に向けた 調査分析

調査① 荒川公園 樹木調査

荒川公園内の樹木の健康状態を測るために、2025年1月、7月に幹周90cm以上の大径木105本について樹木医による樹木調査を実施したところ、約3割の樹木が「不健全」「不健全に近い」という結果となりました。

※不健全：不健全な状態にあり、今後回復の見込みがないもの、倒木や幹折れの危険のあるもの。
※不健全に近い：被害の程度が大きく、何らかの処置を必要とするもの。



- 不健全 (伐採済)
- 不健全に近い
- おおむね健全
- 健全に近い
- 健全



調査② 騒音調査

新しく施設が
整備されると
うるさくなるの？

目的・方法

- ①現況の市民体育館における騒音の状況を調査
- ②新施設に類似する施設（類似施設）における騒音の状況を調査
- ③調査結果を参考に、新施設における目標を設定
- ④上記目標値を満足するような施設計画（対策）を検討

ここまで
実施



調査概要

①現況調査

- 実施日時 : 10/25(土)
- 対象イベント : プロレスリング
(SUPER Jr. TAG LEAGUE 2025)
- 対象施設 : 熊谷市立市民体育館

②〈参考〉類似施設調査

- 実施日時 : 6/28(土)
- 対象イベント : プロバスケット (B.LEAGUE GLOBAL INVITATIONAL 2025 B.LEAGUE UNITED vs AUS NBL(NBL 選抜))
- 対象施設 : オープンハウスアリーナ太田

現況調査地点



調査② 騒音調査

結果

- ・ イベント時は、屋内・屋外の両地点で騒音レベルが上昇した。
- ・ 現施設においても施設外壁の防音効果により、イベント時の屋外の騒音レベル（54dB）は、環境基準値（55dB※）を下回る数値であった。

※本基準値はイベント時を対象とした基準値ではなく一般的な環境（平常時）に適用される値

▶ 目標：新施設は現況と同程度の騒音環境となるような施設計画を検討

①市民体育館（来場者数：1,093人）

	等価騒音レベル（dB）	
	屋内	屋外
イベント前	46	46
イベント時	80	54

②〈参考〉類似施設（来場者数：3,094人）

	等価騒音レベル（dB）	
	屋内※	屋外
イベント前	51	47
イベント時	54	49

調査③ 交通量調査

新しく施設が整備されると周辺がより混雑するの？

周辺の交通環境への影響を検討するため、2022年に実施した交通量調査に加え、本年度も追加調査を実施



- 方法
- ① 荒川公園・市民体育館周辺の交通量の調査
 - ② 過去調査の内容と合わせて1日の交通量・ピーク時の交通量を整理
 - ③ 調査結果から新施設が整備された場合の周辺交差点への影響を検証

調査時期：

[過去調査]

- 調査日時
 - 平日：2022/10/12（水）
 - 休日：2022/10/16（日）
- 調査時間
 - 7:00-19:00（12時間）

[今年度調査]

- 調査日時
 - 平日：2025/5/20（火）
 - 休日：2025/5/18（日）
- 調査時間
 - 7:00-19:00（12時間）

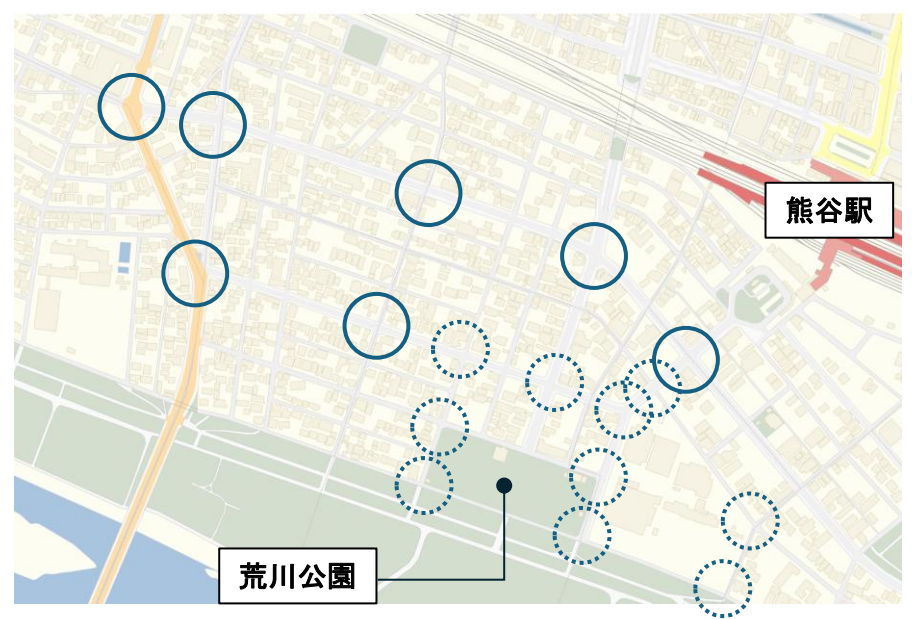
調査箇所：

[過去調査]

- 10箇所
-

[今年度調査]

- 7箇所
-



調査④ アンケート調査

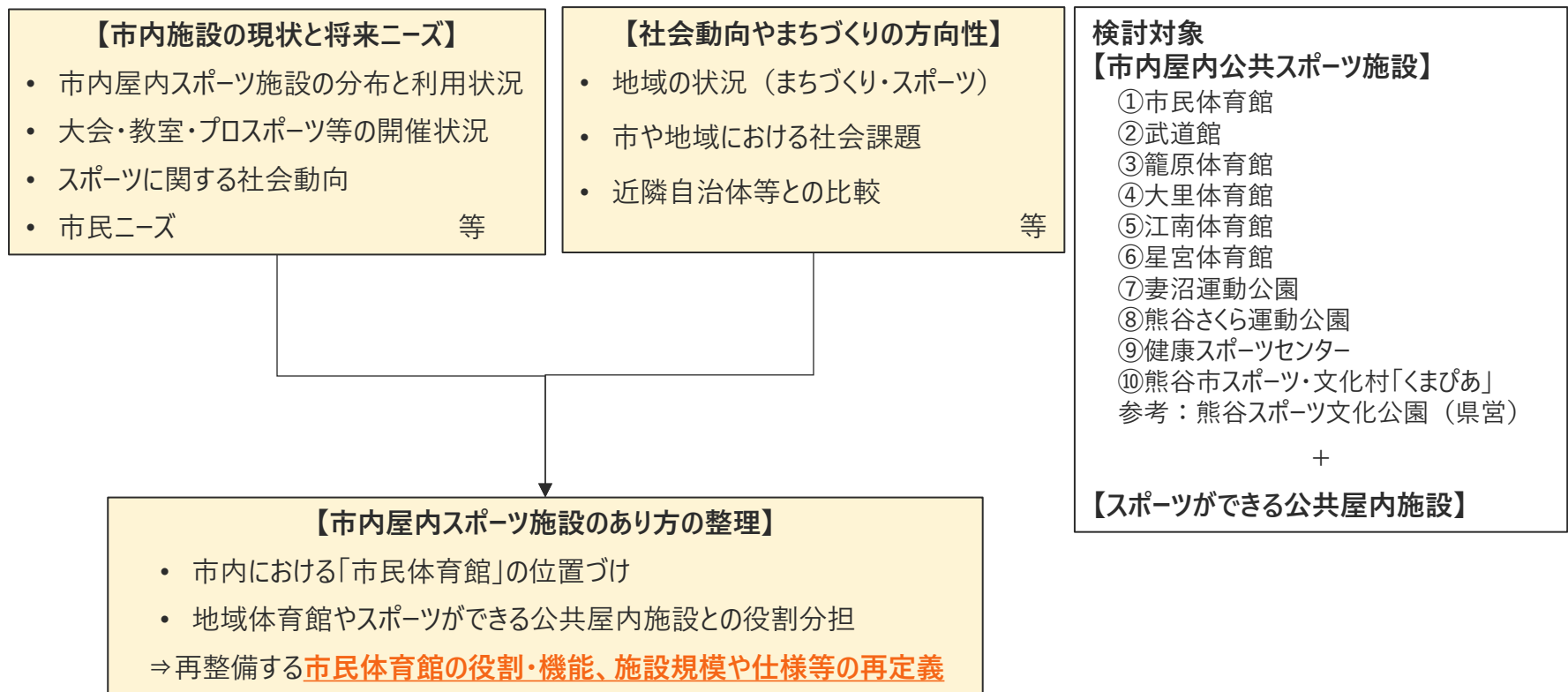
荒川公園周辺の今後のあり方を改めて検討するため、2025年7月に3種類のアンケートを実施しました。

概要	市民アンケート	近隣住民アンケート	体育館利用団体アンケート
目的	<ul style="list-style-type: none">市民の幅広い意見の把握スポーツ実施状況の把握	<ul style="list-style-type: none">周辺にお住まいの立場の意見の把握	<ul style="list-style-type: none">市民体育館利用団体の意見の把握市内スポーツ施設利用状況の把握
対象	熊谷市民	半径約1km圏内の世帯	市民体育館利用団体
方法	市報・HP等に掲載	調査票配布	調査票配布
回答数	721件	214件	9件

※結果は市ホームページに掲載しております。

調査⑤ 体育館の位置づけに関する調査

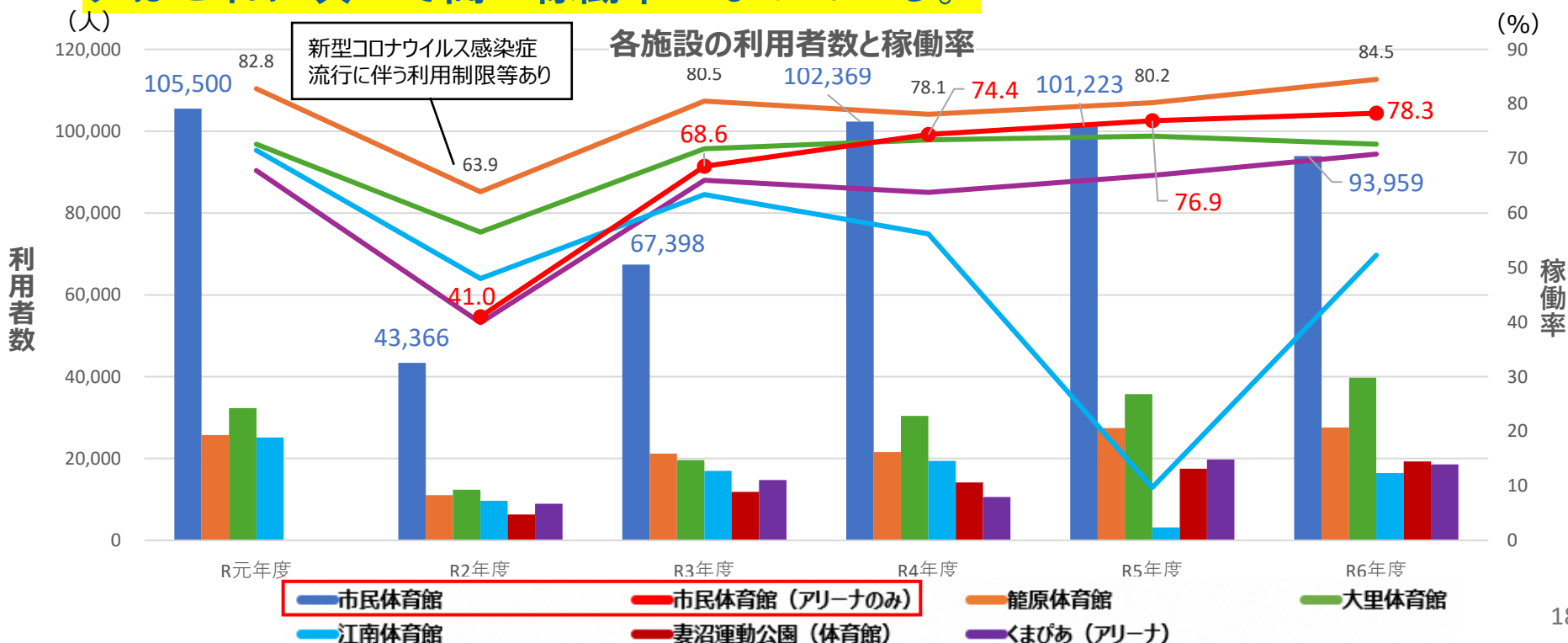
市民体育館の施設規模などを検討するため、
市内の屋内スポーツ施設全体からみた市民体育館の位置づけについて調査・分析しました。



調査⑤ 体育館の位置づけに関する調査

市内公共屋内スポーツ施設（体育館）の利用状況

- 市内の体育館で**市民体育館の利用人数が最も多く、年間10万人前後**（コロナ禍除く）の利用者で推移している。
- 稼働率は**籠原体育館（アリーナのみ）が最も高く、市民体育館のアリーナはこれに次いで高い稼働率**となっている。



調査⑤ 体育館の位置づけに関する調査

市内及び周辺自治体の屋内スポーツ施設（体育館）の整備状況

- 県内、周辺自治体と比較し市民体育館は**鉄道駅からのアクセシ性**が良い
- 市内にサブアリーナがある施設は無い
- 観客席数は、**500席以下の小規模な施設**と、**3,000席程度の大規模な施設**の2パターンに分かれ、**市民体育館はその中間の規模**



調査⑤ 体育館の位置づけに関する調査

市民体育館再整備の方向性

- 市民体育館の立地している荒川公園周辺は、「熊谷市都市計画マスタープラン（R4）」において、“**新スポーツ・文化・健康拠点**”として位置づけられており、①都市拠点に近接する強みを生かし、**市民のスポーツ・文化活動の支援や交流人口の拡大を図る拠点**、②「**する・みる・ささえるスポーツ※**」を通じ、**地域の誇りを感じる空間**、としての役割が求められている。
- 市民体育館の再整備にあたっては、“**みるスポーツ**”の機能を強化しつつ、市民の“**するスポーツ**”利用との両立を図ることで、“**する・みる・ささえる**”で**関われる、市民のスポーツ振興の拠点**となる施設を目指していくことが望ましいと考えられる。
- 市民体育館の現状の利用状況について、利用者数は多い一方で稼働率はそこまで高くないため、**これまで活動できなかった競技の使用**を含め、ハード・ソフト両面での再整備を行い、より効率的・効果的な利用ができる施設としていくことが重要である。

**子どもから高齢者、障がい者等を含めて様々な世代が利用しやすく、
県市のみならず全国規模の学生大会等が誘致可能な体育館建設を検討する**

調査⑥ プレサウンディング調査

体育館や都市公園に関わった経験を持つ民間事業者から意見を伺いました（参加者数：24者）

①体育館の施設配置への主な意見

意見

▶メインアリーナとサブアリーナを分棟型とする場合

メリット

- メイン・サブアリーナで興行と市民利用を両立しやすい。
- 公園側の施設を使って公園と連携しやすい。
- 既存体育館の利用を継続しながら整備できる。
- 駐車・交通動線は整理しやすい。

デメリット

- 一体型より整備・維持運営ともにコスト増。
- 分棟のため利用者・搬入出ともに不便。道路の乱横断も懸念。
- メイン・サブアリーナの一体利用はしにくい。
- 現荒川公園側に体育館を建築する場合、現公園の面積が減少する。また、現荒川公園敷地北側への影響が懸念される。

▶メインアリーナとサブアリーナを一体型とする場合

メリット

- 運営しやすく、維持運営コストも下がる。
- 日常利用時は移動が少なく利用性は良い。
- 現市民体育館敷地内で建物及び駐車場が確保できる場合は現荒川公園への影響が少ない。※荒川河川敷に駐車場確保も可能
- 分棟型より整備コストは下がる。

デメリット

- 現体育館敷地に建設する場合、工事中は利用継続できず、公園側に工事ヤードが必要。延床面積が小さく、後から諸室不足となるリスクがある。公園への影響、道路乱横断や搬入出も課題。
- 興行利用と市民利用の同時利用では動線の錯綜などが懸念される。

▶メインアリーナ2階・下部に駐車場の場合

メリット

- アリーナを2階以上にすることで浸水時も安全に避難できる。

デメリット

- コスト増。物資拠点にはならない可能性がある。
- 搬入出・可動席運営が煩雑で運営の負担が大きい。
- 建物が高くなる分、圧迫感が懸念。

調査⑥ プレサウンディング調査

②観客席数の規模

- 観客席数3,000～4,000席が概ね妥当との意見が多くありました。

意見

- アマチュアレベルの全国大会であれば、**3,000～4,000席あれば足りる**（5,000席程度が望ましいとの意見も一部あり）
- プロ・興行利用を視野に入れる場合には4,000席以上が望ましい。
- 固定席を増やすと清掃等の維持運営負荷が上がり、満足度低下リスクもあるため**可動席を組み合わせることが合理的**。

③駐車場の規模

- 現状や将来の利用率等を踏まえた検証が必要としつつ、現在の規模（70台）では不足するとの意見が多くありました。
- 一方、熊谷駅から近い立地を生かし、公共交通機関の利用を前提とすることも考えられるとの意見がありました。

意見

- 平常時の一般利用においても、**最低でも100台程度**は必要。
- 大規模大会・イベント時は**周辺の駐車場と連携する必要**がある。ただ、既に駅利用者である程度埋まっているのでは。
- 大規模大会・イベント時を考慮すると、大型バスや大型トラック等が進入できる駐車場が必要。
- 駅から近い好立地のため、**公共交通機関の利用を前提とすること**は考えられる。

調査⑥ プレサウンディング調査

④新たな公園施設に関するアイデア

主なアイデア

- ・ 休憩・カフェ・日陰など滞在性向上の場を整備する。
- ・ 大型遊具や屋内遊び場など、子ども・家族向けの遊び場を強化する。
- ・ 屋外コートやランニングコースなどのスポーツ・健康機能を充実させる。
- ・ イベント広場やキッチンカー対応設備で公園の賑わいを作る。

⑤荒川緑地との連携に関するアイデア

主なアイデア

- ・ ランニング・サイクリング利用者向けの更衣室・シャワー等をアリーナに設ける。
- ・ スポーツ体験・環境イベント・フードイベントを緑地と共同で開催する。
- ・ トイレ・休憩所などアリーナの設備を緑地利用者にも開放する。
- ・ 荒川緑地を一次避難、アリーナを避難所とする防災連携を強化する。

⑥環境負荷を下げ、防災・減災のための施設とするための方策

主なアイデア

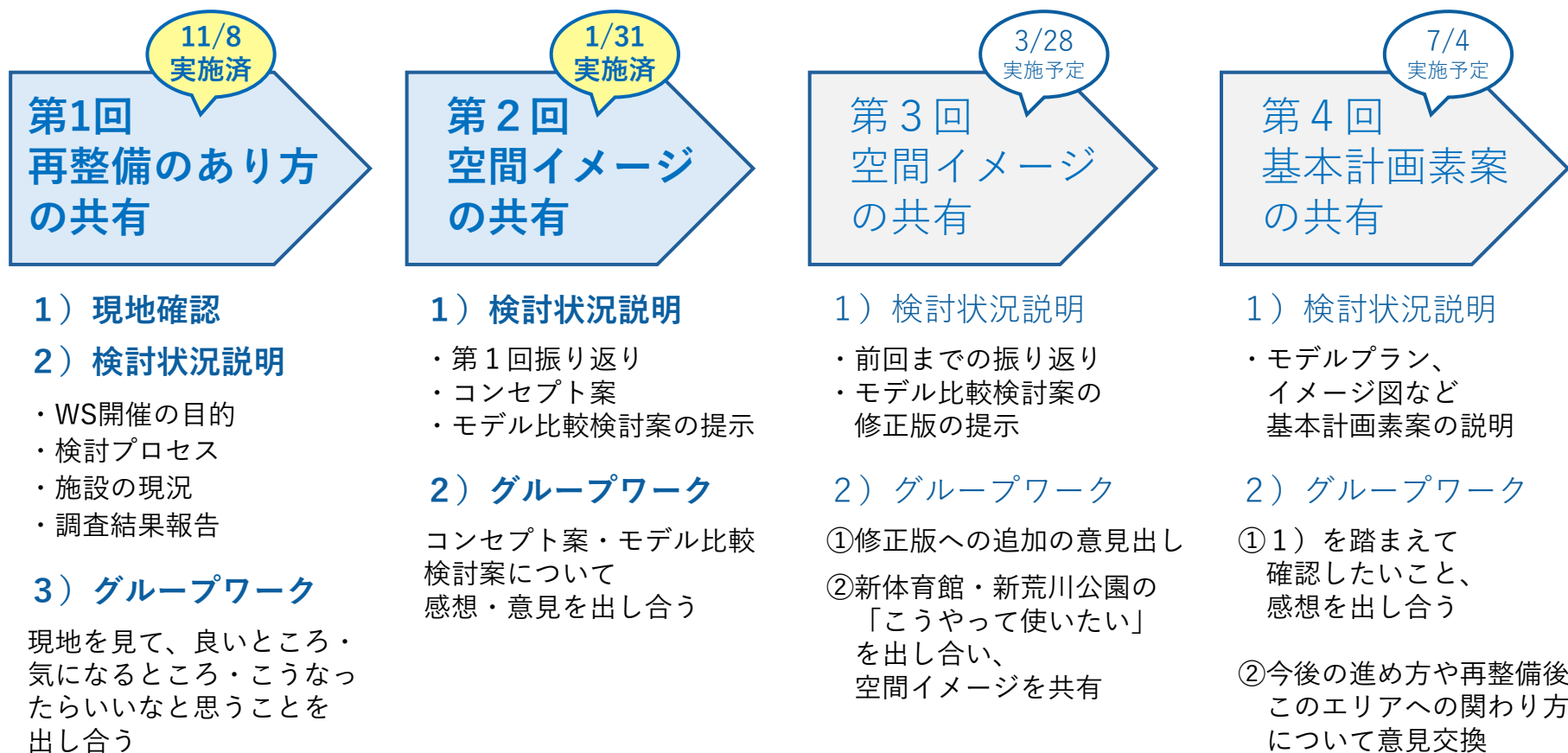
- ・ ZEB Ready は概ね可能だが、Nearly ZEB は大空間ゆえに難しくコスト増が大きい。
- ・ 太陽光・蓄電池、高効率空調、断熱強化などの省エネ設備導入が必要。
- ・ 浸水リスクに備え、設備室や避難機能を上階に置き、防災設備（非常電源・備蓄）を充実すべき。
- ・ 要求水準や防災・ZEBの仕様はコストに大きく影響するため、事前に明確化が必要。

3) ワークショップ^o経過報告

ワークショップ4回の流れ

※ワークショップの内容は今後変更の可能性あります。

ワークショップは、2026年7月までに4回継続して実施します。
本日は、第1回、第2回の開催結果をご報告します。



第1回ワークショップの様子

第1回ワークショップでは、実際に現地確認をした後、今の公園・市民体育館や、対象エリア全体について良いところ、気になるところ、こうなるといいなの3つを書いて出しました



第1回ワークショップで出た意見のまとめ

良いところ

エリア全体 駅からのアクセス性の良さ／落ち着いた住環境／公共施設の集積 など

公園 四季を楽しめる／木陰や風の道があり涼しい／イベントでの憩いの場としての価値

市民体育館 駅から近くアクセスしやすい立地／こどもの健全な育成につながる場である

気になるところ

エリア全体 道路の混雑・歩みにくさ／駅から川に抜けるまでのエリアの賑わい不足

公園 全体的な設備・器具の老朽化／樹木の衰退／舗装によるくつろぎにくさ

市民体育館 施設全般の老朽化／駐車場の規模／観客席の少なさ／利用料金／立地への心配

こうなると良いな

エリア全体 施設間の相互連携／一体的な賑わい創出／歩きやすい歩道整備

公園 現公園の良さを生かした豊かなみどり／暑さ対策／親水空間／くつろげる空間づくり

市民体育館 空調完備／多目的利用／次世代が楽しく使える

※施設規模現状維持・規模拡大・重層化など多様な意見あり

第2回ワークショップ

第2回ワークショップでは、アンケートと第1回ワークショップのご意見から、将来の体育館・公園の利用シーン・再整備の目標・モデルプラン案の説明、意見交換を実施しました。



利用シーンの抽出

本年度実施したアンケートと前回ワークショップでいただいたご意見を
を基に、将来の体育館・公園の利用シーン（使い方）を整理しました。

共通

①誰もが気軽に
体を動かす



②居心地の良い空
間でくつろぐ



③みんなで災害に
備える



体育館

④スポーツ教室に
日常的に参加する



⑤スポーツ大会に
出場する・サポ
ートする



⑥スポーツ・イベ
ントをみて楽しむ



公園

⑦豊かなみどりに
囲まれ自然を感じる



⑧子どもが
のびのびと遊ぶ



⑨季節感を
楽しむ



目指すべき方向性（案）

市民の皆様のご意見より、新しい体育館・公園の**目指すべき方向性**として「**再整備の目標**」の案を整理しました。

再整備の目標（案）

- 熊谷駅南口エリアの新たな「顔」となり、多様な活動や交流を育む
- 市民とともに豊かな緑を継承し、日常の暮らしを豊かにする
- “する・みる・ささえる”で関われる、市民のスポーツ振興の拠点となる
- 誰もが安心して利用でき、災害時に地域の安全を支える

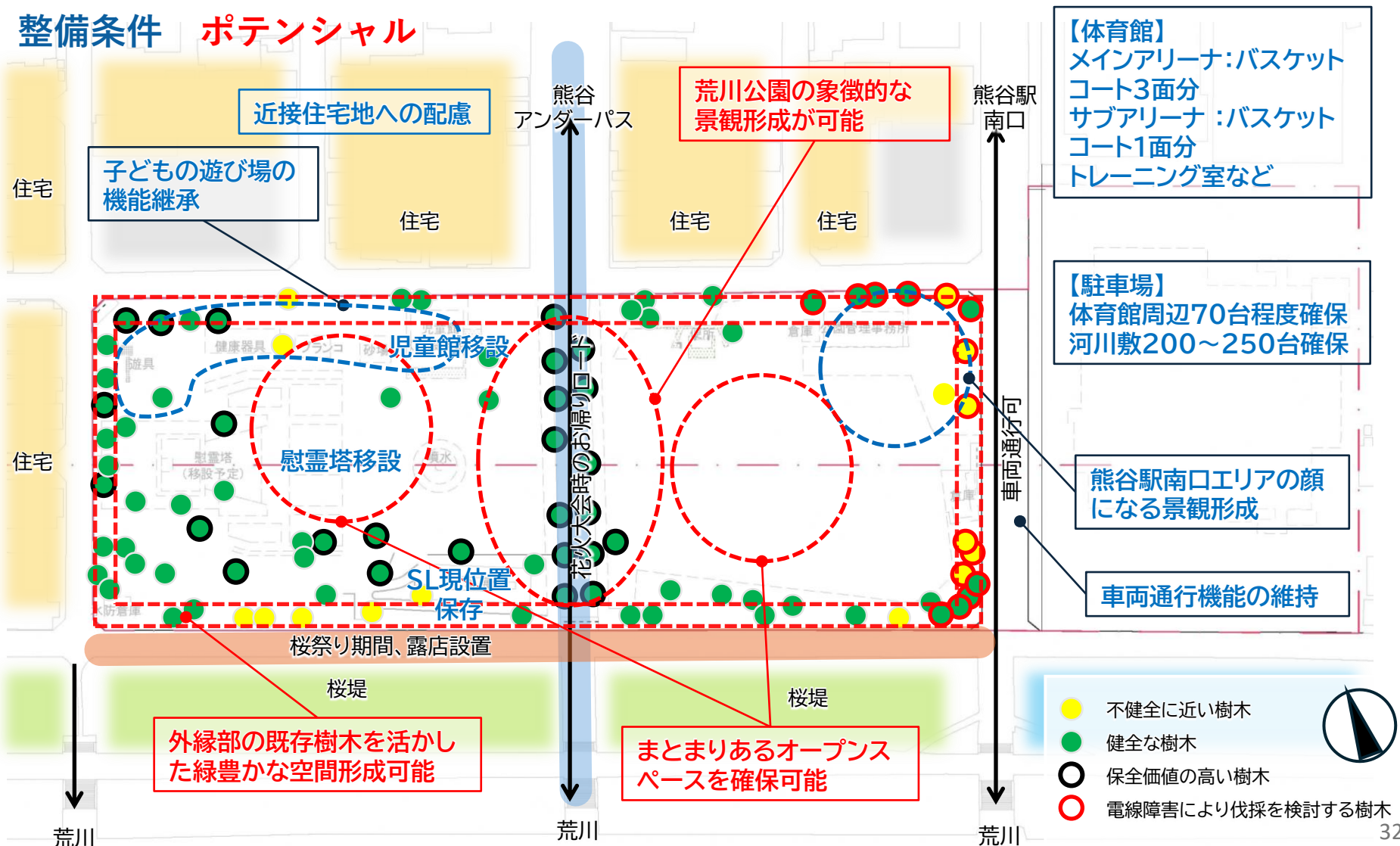
施設イメージ（案）

将来の体育館・公園での「利用シーン」を実現するための施設イメージ、ゾーニングを整理しました。

利用シーン	施設イメージ	ゾーニング
豊かなみどりに囲まれ自然を感じる⑦	芝生広場、木陰、ベンチ・デッキ	憩いゾーン ：既存の緑を活かしながら多目的に使える芝生広場を配置
誰もが気軽に体を動かす①	健康遊具、多目的広場	運動ゾーン ：屋外での気軽な運動ができる遊具やオープンスペースを配置
スポーツ教室に日常的に参加する④ スポーツ大会に出場する・サポートする⑤ スポーツ・イベントをみて楽しむ⑥	メインアリーナ、サブアリーナ、トレーニング室、スタジア（体育室）、管理室、駐車場・駐輪場	体育館ゾーン ：体育館が立地し、主に体育館利用者用向けの駐車場を配置
居心地の良い空間でくつろぐ②	共用空間、トイレ、授乳室 エントランス広場 屋根付広場	エントランスゾーン ：公園正面入口となり、体育館利用者の滞留空間としても活用
子どもがのびのびと遊ぶ⑧	遊具、屋内遊び場 親水施設	遊びゾーン ：幼児から児童まで年齢に合わせた遊具や、水遊び場、屋内遊び場など多様な遊びニーズに対応し、遊び場の近くには見守り・休憩に使える屋根付広場を設置
季節感を楽しむ⑨	キッチンカー等出店可能な広場、SL展示	交流ゾーン ：季節の祭に加え日常イベントなど市民の交流を育む空間を継承
みんなで災害に備える③	防災倉庫、広場等	ー（全体）

施設配置の検討

整備条件 ポテンシャル



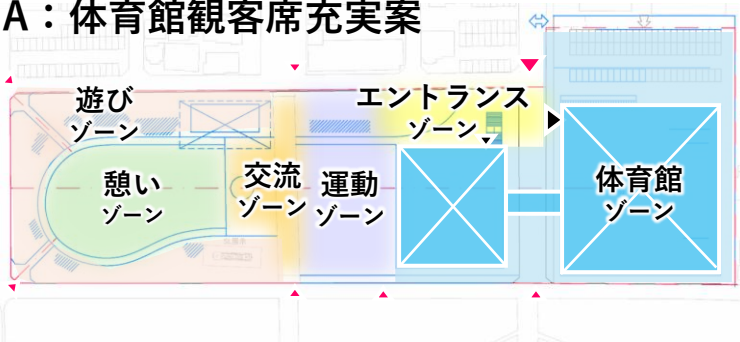
施設配置（複数案）

アンケートやワークショップでは、体育館・駐車場・公園オープンスペースについて、規模の現状維持・拡大・重層化など多様なご意見がありました。これを踏まえ、施設配置を4案検討しました。プランの比較の際には、プレサウンディング調査で確認した民間事業者の意見を反映しました。

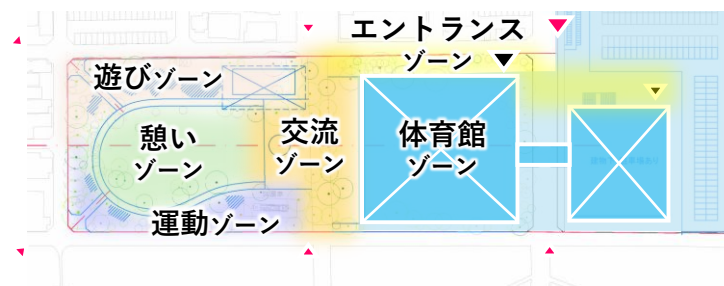
【共通方針】

- 熊谷駅南口からアクセスしやすく、体育館入口に近い区域を「**エントランスゾーン**」とする
- 市役所通りから連続するシンボル性の高い空間である、中央の並木空間を賑わいの中心となる「**交流ゾーン**」とする
- 現在の遊び場がある場所を中心に、その機能を継承しつつ、北・西側のエリアを「**遊びゾーン**」とする
- 体育館との利用の連携を踏まえ、体育館に隣接するエリアを「**運動ゾーン**」とする（B案を除く）
- 既存樹木に囲まれたオープンスペースが確保できる位置を「**憩いゾーン**」とする

A：体育館観客席充実案



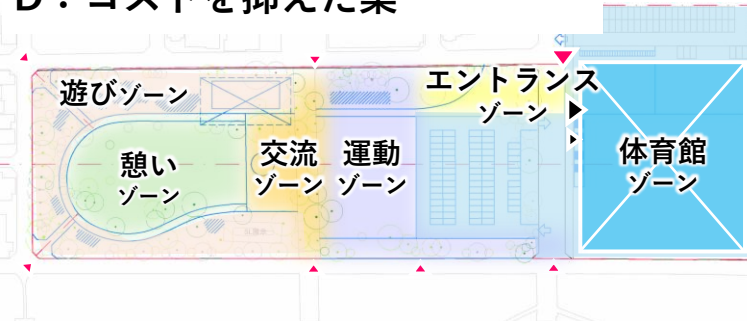
B：既存体育館利用継続案



C：公園スペース充実案



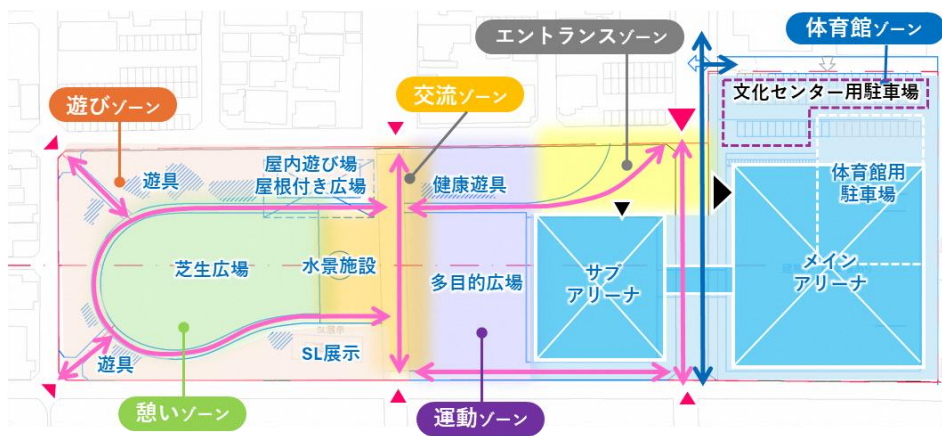
D：コストを抑えた案



A. 体育館観客席充実案

参加者や観客数の多い大規模大会にも対応できるよう、観客席数を確保しつつ、公園オープンスペースも確保した配置案。

アリーナ ※現行：バスケットコート2面 1階	メインアリーナ：バスケットコート3面、 2階 サブアリーナ：バスケットコート1面、 1階
観客席数 ※現行：固定 958席	固定約 2,100席 仮設約1,800席
駐車場台数 ※現行：70台	70台（現体育館敷地側） 200～250台（荒川河川敷）
公園オープンスペース （駐車場除く） ※現行：13,300㎡ （慰霊塔、児童館、 管理事務所除く）	約 13,000㎡
体育館建設費	約 140億円



▶メイン入口 ▶サブ入口 ▶建物メイン入口 ▶建物サブ入口

↔歩行者 ↔車両



いただいた主なご意見



良いところ

- 豊富な観客席数によりプロスポーツやコンサートなど大規模イベントに対応できる点に最も多くの期待が寄せられた
- 機能面では、分棟配置により大会と市民利用を両立しやすい点や、メインアリーナを2階に置くことによる浸水対策への評価も高かった
- 河川敷との連携や既存の並木・広場の維持など周辺環境との調和を望む声も挙がった



気になるところ

- 公園側への建物配置による圧迫感や風通しの悪化など、周辺環境への悪影響を心配する声が多かった
- メインアリーナが2階で分棟となる構造による大会運営や施設間移動の不便さ、災害拠点としての使いにくさも指摘された
- 約140億円という建設費や維持管理コストの高さ、既存樹木の伐採に伴う公園オープンスペースの減少、工事期間中の利用停止に対する不安の声も多く寄せられた

B. 既存体育館利用継続案

A案と同じ観客席数を確保しつつ、メインアリーナを公園側に配置することで既存体育館の利用を継続しながら整備できる案。

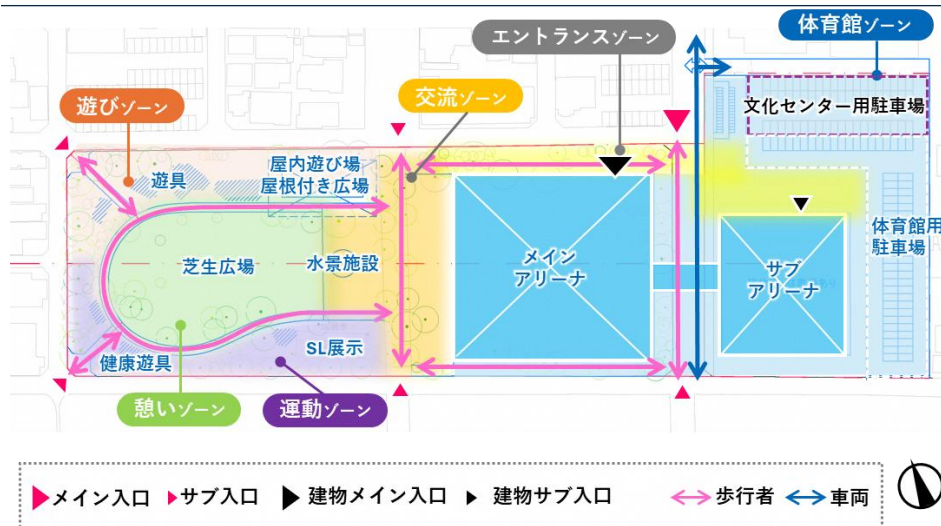
アリーナ
※現行：バスケットコート2面
1階
メインアリーナ：バスケットコート3面、1階
サブアリーナ：バスケットコート1面、1階

観客席数
※現行：固定958席
固定約2,100席 仮設約1,800席

駐車場台数
※現行：70台
70台（現体育館敷地側）
200～250台（荒川河川敷）

公園オープンスペース
（駐車場除く）
※現行：13,300㎡
約11,000㎡
（慰霊塔、児童館、
管理事務所除く）

体育館建設費
約100億円



いただいた主なご意見



良いところ

- 工事期間中も既存体育館を継続して利用できる点が最も支持された
- 代替施設がない中で、日常の利用や大会を途切れさせずに整備できることが高く評価された
- 約100億円と規模に対してコストが低い点や、メインアリーナが1階にあり運営しやすい点、大規模イベントに対応できる観客席数、入口付近の滞留空間の確保、公園との連携のしやすさといった面も好評だった



気になるところ

- 公園のオープンスペースが最も縮小し、既存樹木の伐採が多い点にたくさんの不安が寄せられた
- 公園側に大きな建物が配置されることで生じる圧迫感や、花火が見えなくなることを心配する声もあった
- 機能面では、分棟配置による維持管理コストの増加や施設間移動の不便さのほか、メインアリーナが1階であることによる浸水時の防災面への懸念、サブアリーナの必要性を問う声などもあった

C. 公園スペース充実案

公園のオープンスペースの継承を重視した配置案。メインアリーナを2階、駐車場を1階とし、建物を現体育館側敷地に集約する。

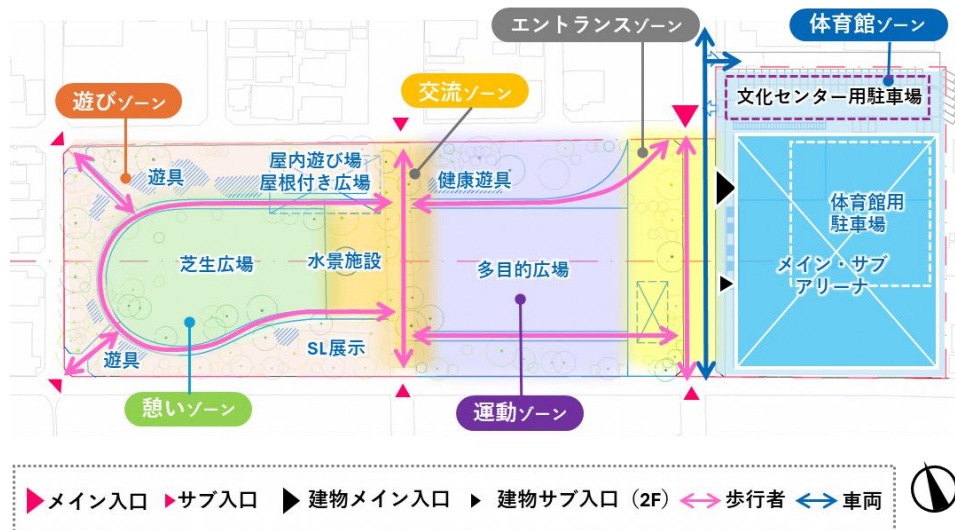
アリーナ
 ※現行：バスケコート2面 1階
 メインアリーナ：バスケコート3面、2階
 サブアリーナ：バスケコート1面、2階

観客席数
 ※現行：固定 958席
 固定約1,300席 仮設約1,800席

駐車場台数
 ※現行：70台
 70台（現体育館敷地側）
 200～250台（荒川河川敷）

公園オープンスペース
 （駐車場除く）
 ※現行：13,300㎡
 （慰霊塔、児童館、管理事務所除く）
 約15,000㎡

体育館建設費 約120億円



いただいた主なご意見



良いところ

- 公園のオープンスペースを最も広く確保し、既存樹木を多く保全できる点に最も多くの支持が集まった
- 市民の「緑を守りたい」という意向や市の方針と合致している点が高評価だった
- メインアリーナが2階にあることによる浸水対策（防災面）や、施設集約による維持管理コストの抑制、分かりやすい動線や開放的な景観のほか、広場でのマルシェやカフェなどの活用にも期待が寄せられた



気になるところ

- メインアリーナが2階にある構造への不安が多数挙げられた
- 具体的には、大会運営や災害物資拠点としての使いにくさ、下階に駐車場を設けることによる建設コストの増加、建物の高さによる日照悪化や圧迫感などだった
- 工事期間中に既存体育館が利用できなくなることへの強い不安や、大会利用と市民利用の両立の難しさ、1,300席という観客席の少なさ、駐車場不足なども指摘された

D. コストを抑えた案

C案の建物の1階部分の駐車場を公園側に配置することで、建物の高さを抑え、使いやすくすることでコストダウンを図った案。

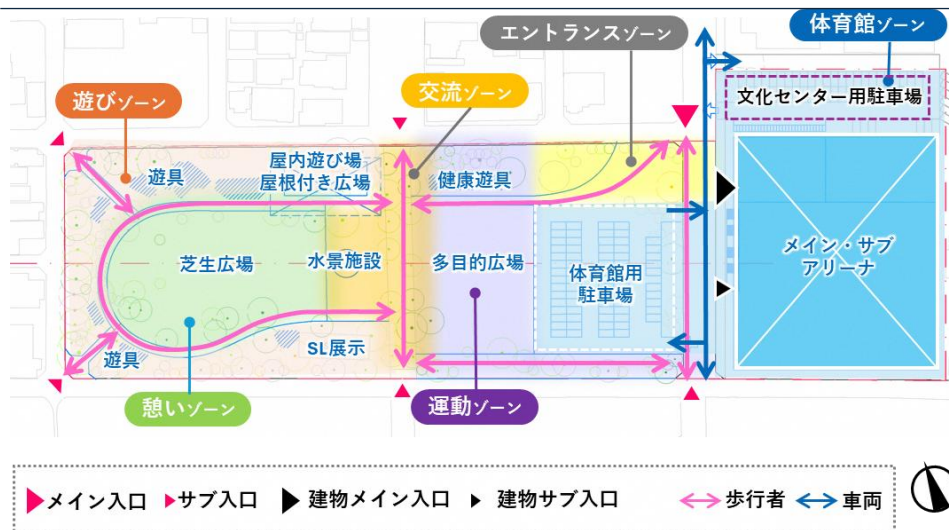
アリーナ
※現行：バスケコート2面
1階
メインアリーナ：バスケコート3面、1階
サブアリーナ：バスケコート1面、1階

観客席数
※現行：固定 958席
固定約**1,300席** 仮設約1,800席

駐車場台数
※現行：70台
70台（現荒川公園敷地側）
200～250台（荒川河川敷）

公園オープンスペース
（駐車場除く）
※現行：13,300㎡
（慰霊塔、児童館、
管理事務所除く）
約**13,500㎡**

体育館建設費
約**90億円**



いただいた主なご意見



- 建設費と将来の維持管理費を最も安く抑えられる点に圧倒的な支持が集まった
- 将来の市民負担を考慮した際、コストの低さが明確なメリットとして評価された
- 敷地がコンパクトにまとまりメインアリーナが1階にあることによる運営のしやすさや動線の分かりやすさ、既存樹木を多く保全できるなど、コストと景観・機能のバランスの良さも高く評価された



- 公園入口付近への駐車場配置による景観の悪化や、オープンスペースの減少を懸念する多くの声があった
- 歩行者と車の動線の交錯や排ガス問題への心配の声も上がった
- 工事期間中に既存体育館が利用できなくなることへの強い不安、観客席の少なさ、アリーナや諸室が手狭にならないかといった機能面での心配、大会と市民利用の両立の難しさなども指摘された

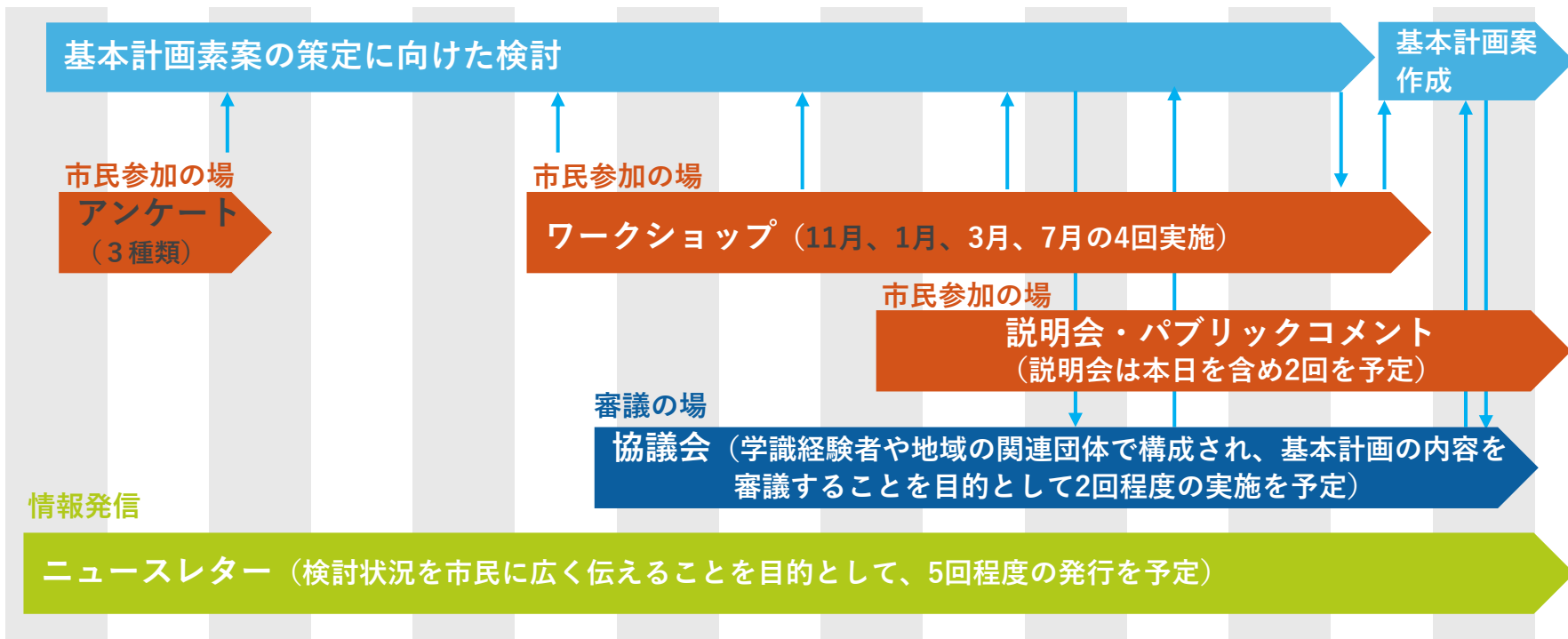
今後のスケジュール

今後のスケジュール

今後は、3月、7月に計2回のワークショップを実施します。
全ワークショップ終了後に次回説明会の開催を予定しています。

2025年

2026年



參考資料

参考：対象地概要

市民体育館の概況

開館	昭和40(1965)年 築60年
敷地面積	6,357.00㎡
構造規模	鉄筋コンクリート造＋ 鉄骨造 地上2階建て
延床面積	3,693.05㎡ (倉庫含む)
駐車場	70台



出典：熊谷市HP



出典：くまがやねっとHP

参考：対象地概要

市民体育館の施設

アリーナ	1,526㎡ 40m×33m バスケットコート2面、バレーボールコート3面、バドミントンコート8面、卓球台30台、体操用具1式
舞台	
柔道場	52畳（約90㎡） ※主な利用：柔道、合気道、テコンドー、体操、ヨガ
剣道場	130㎡ ※主な利用：剣道、太極拳、気功、空手、居合、ヨガ
会議室、役員室	24席
事務室、管理室、放送室	
更衣室、トイレ	
観客席（2F）	固定席958席、車いす25席



アリーナ



柔道場



剣道場

参考：対象地概要

荒川公園の概況

開園	昭和51(1976)年 開園後49年経過
敷地面積	15,119.15m ² (サッカーコート約2面分)
公園種別	近隣公園

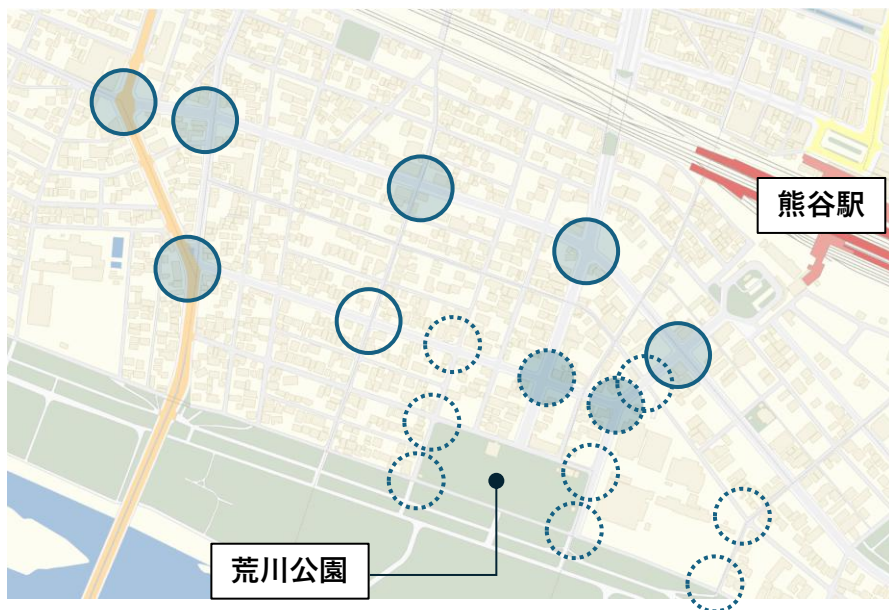


参考：交通量調査結果詳細

- 影響検証の流れ
- ①新施設の駐車場規模とアクセスするための動線を設定
 - ②交通量調査結果から整理したピーク時間に設定した交通量を上乗せ
 - ③周辺信号交差点で影響を検証（交差点需要率・車線混雑度）

現況：交通量調査で実際に計測した台数：X台

将来：駐車場整備によって周辺交差点で増加する想定交通量：Y台



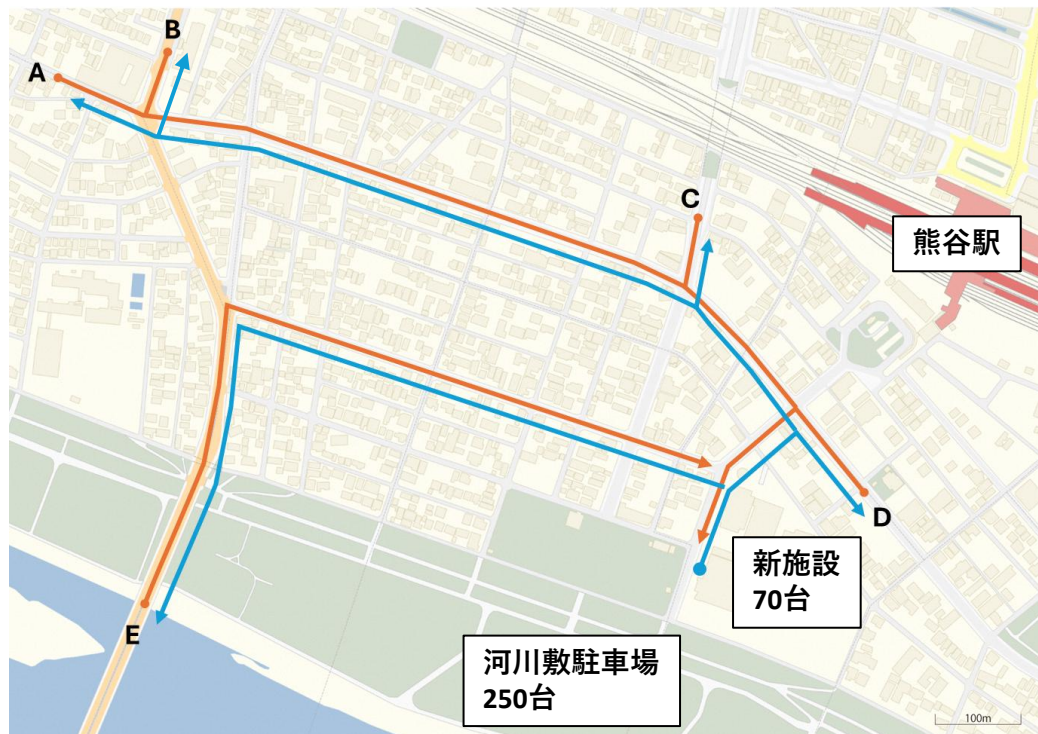
交差点需要率の判断
交差点全体の混雑状況を示す指標であり、理論上交差点の処理能力（限界需要率）未満であれば、交通を処理できると判断される。
車線混雑度の判断
各車線における混雑度を示す指標であり、理論上1未満であれば、交通を処理できると判断される。

● ● 影響検証を行った信号交差点

参考：交通量調査結果詳細

現検討案では、駐車場動線は現況と同様に北東IN・OUTで設定しました。駐車場は最大320台程度を想定しています。（大規模イベント時を想定）

※大規模イベント時には関係者のみ駐車場を利用し来場者は公共交通機関の利用を推奨する運用を想定しています。



	新施設	A	B	C	D	E
朝 ピーク	向かう 交通	33	37	20	20	51
	離れる 交通	1	1	1	0	1
タ ピーク	向かう 交通	7	7	4	4	10
	離れる 交通	29	33	19	18	47

単位：台数

上記数値は現況の交通量調査結果をもとに、ピーク時間にどれほど駐車場へ/からの交通量が発生するかを算出し、どこから来るのか/どこへ向かうかを振り分けています。

参考：交通量調査結果詳細

全ページで整理した増加する交通量を、現況の交通量（交通量調査結果）に上乗せた結果を整理しています。



単位：台数

		①	②	③	④	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
朝 ピーク	交通量 (増加数)	1,078 (+34)	1,216 (+38)	876 (+72)	878 (+72)	677 (+21)	920 (+93)	723 (+20)	380 (+113)	400 (+52)	398 (+52)	1,684 (+52)
	増加率	3.3%	3.2%	9.0%	8.9%	3.2%	11.2%	2.8%	42.3%	14.9%	11.5%	3.2%
タ ピーク	交通量 (増加数)	1,150 (+36)	1,239 (+40)	929 (+76)	936 (+76)	684 (+23)	1,008 (+99)	727 (+3.1)	440 (+121)	457 (+57)	465 (+57)	1,778 (+57)
	増加率	3.2%	3.3%	8.9%	8.8%	3.5%	10.9%	2.8%	37.9%	14.3%	14.0%	3.3%

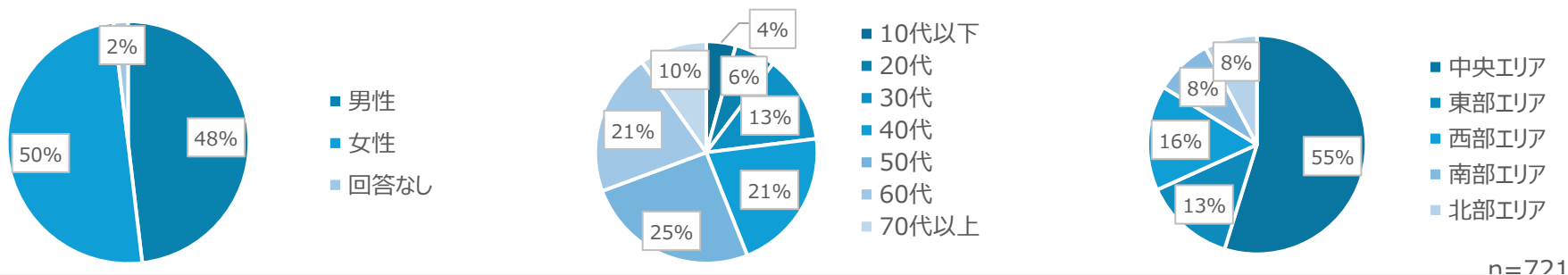
参考：アンケート調査結果概要

- 回答者属性 -

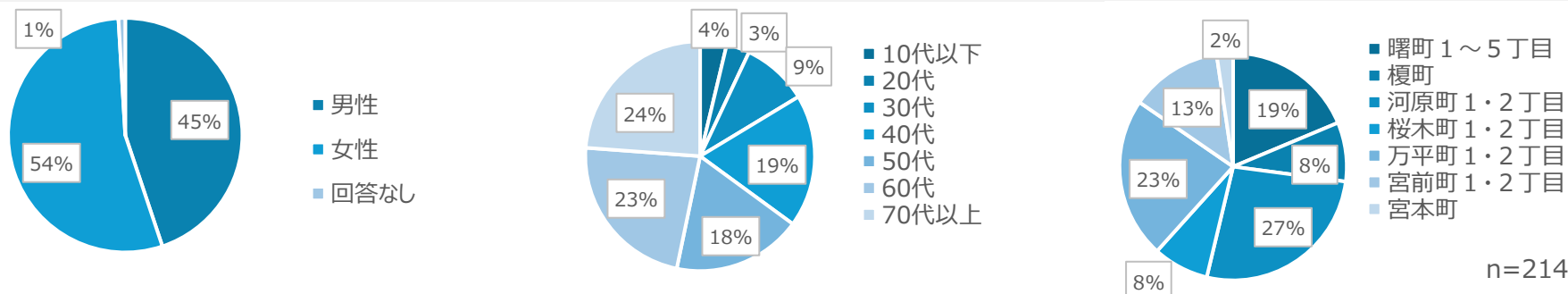
- “市民”は男女同程度、40～60代、対象地を含む中央エリアの比率が高い
- “近隣”は女性比率が高い、40代以上、隣接する河原町の比率が高い
- “団体”は9団体が回答

※ “市民”は市民アンケート、“近隣”は近隣住民アンケート、“団体”は市民体育館利用団体アンケート

市民アンケート



近隣住民アンケート



団体アンケート：熊谷市空手道連盟、熊谷剣道連盟、熊谷市相撲連盟、熊谷市体操協会、熊谷市卓球連盟、熊谷市バスケットボール連盟、熊谷市バドミントン協会、熊谷市バレーボール連盟、熊谷市野球連盟

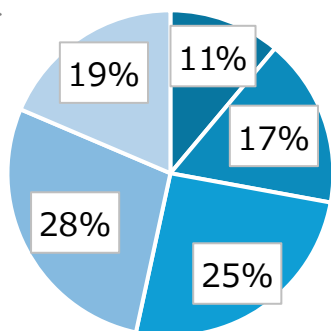
参考：アンケート調査結果概要

- 荒川公園の現在の利用状況 -

- “市民”は**低頻度の利用が多く**、“近隣”は**高頻度の利用が多い**
- “市民”は**お祭などイベント参加が最多**、“近隣”は**軽運動が大多数**
- “市民”“近隣”ともに**自然を楽しむ、休憩・リフレッシュも比較的多い**

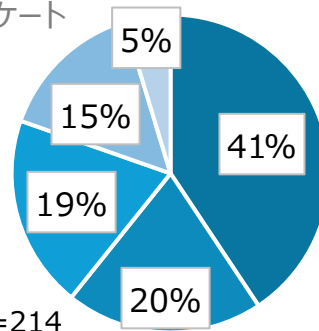
Q.荒川公園の利用頻度をお答えください。

市民アンケート



n=712

近隣住民アンケート

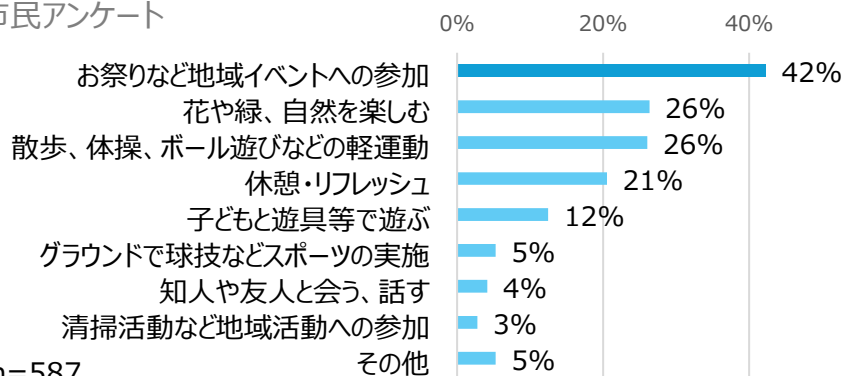


n=214

- 週1回以上
- 月1回
- 半年に1回
- 年1回
- 利用したことがない・知らない

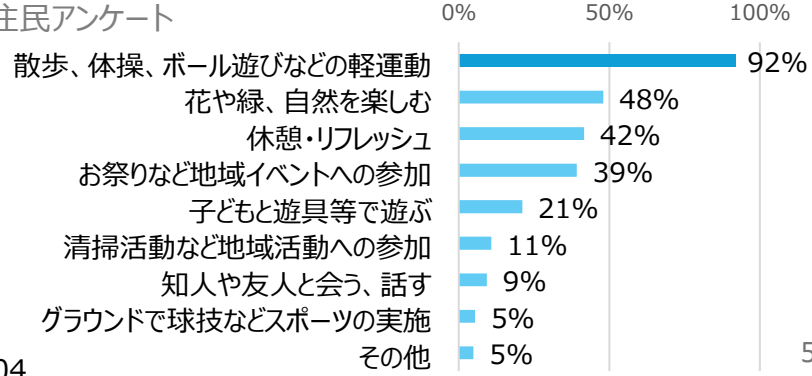
Q.荒川公園の利用目的についてお答えください。（複数選択可）

市民アンケート



n=587

近隣住民アンケート



n=204

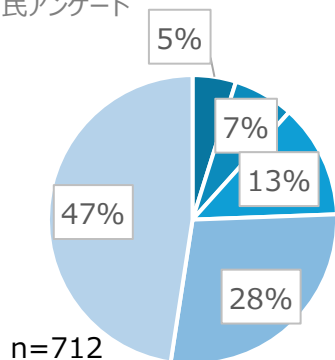
参考：アンケート調査結果概要

- 市民体育館の現在の利用状況 -

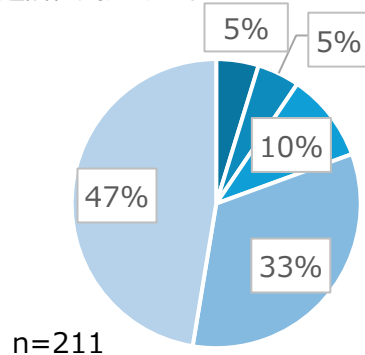
- “市民”“近隣”利用無し・知らないが多く、目的は**応援・観戦**や**大会協力**
- “団体”月に**1回**が多く、目的は**スポーツの実践**や**大会協力**

Q.市民体育館の利用頻度をお答えください。

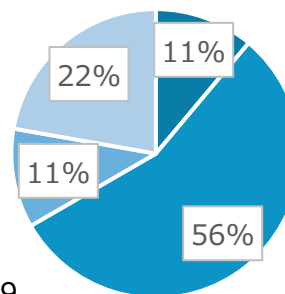
市民アンケート



近隣住民アンケート



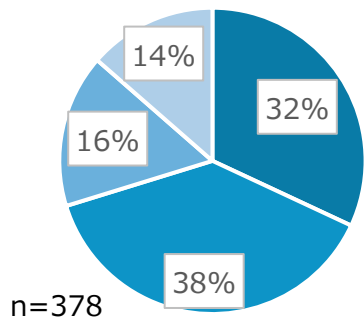
体育館利用団体アンケート



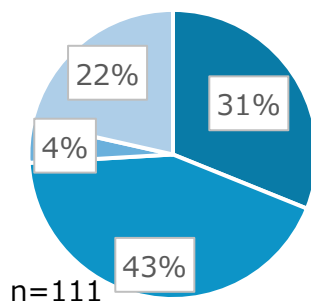
- 週1回以上
- 月1回
- 半年に1回
- 年1回
- 利用したことがない・知らない

Q.市民体育館の利用目的についてお答えください。（複数選択可）

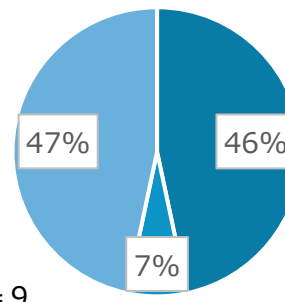
市民アンケート



近隣住民アンケート



体育館利用団体アンケート



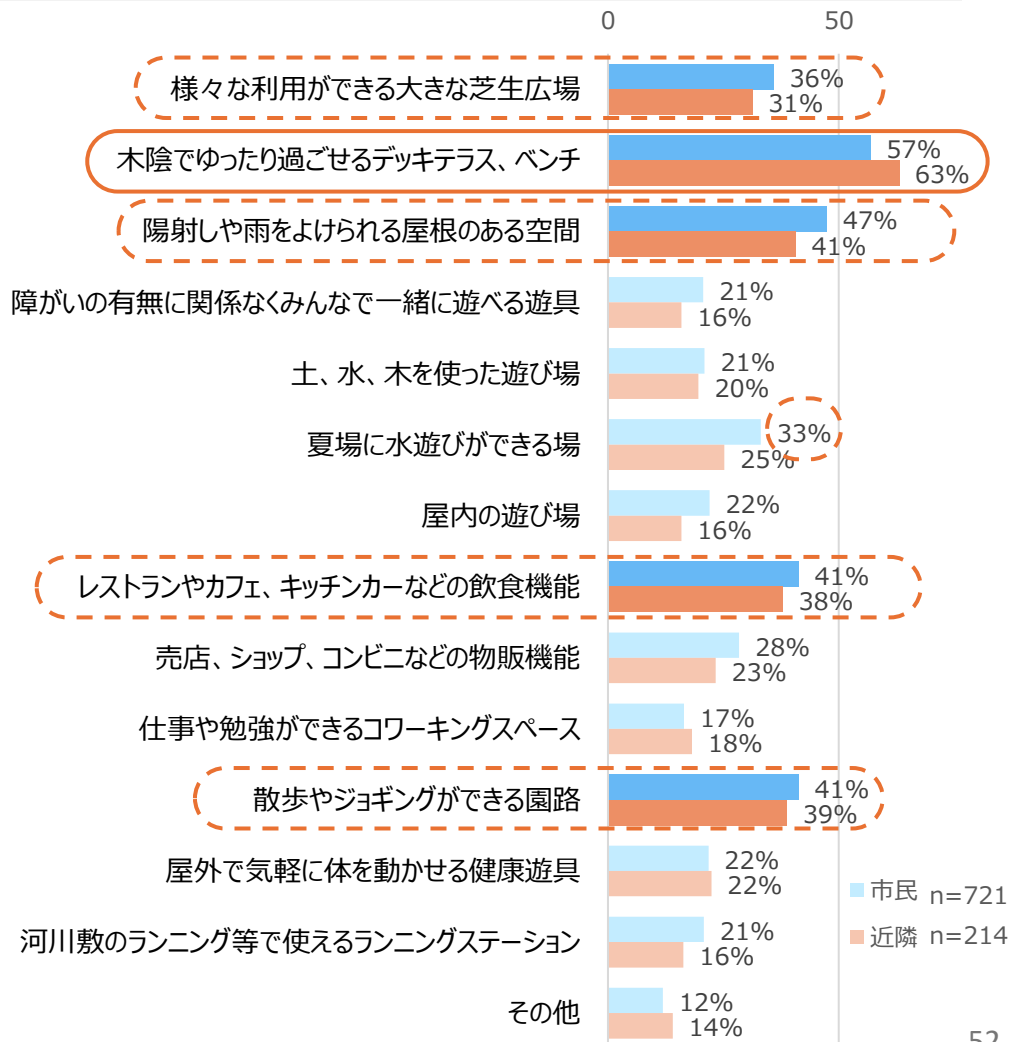
- スポーツの実践
- スポーツの応援・観戦
- スポーツ大会等への協力
- その他

参考：アンケート調査結果概要

- 公園または体育館の利用ニーズ -

- 木陰のデッキテラス、ベンチが“市民”“近隣”ともに最多
- 次に、屋根のある空間、飲食機能や散歩やジョギングができる園路、大きな芝生広場が続く
- 遊び場では、夏場の水遊び場が“市民”でやや多い

Q.新しい荒川公園や体育館にどのような機能や施設があれば利用してみたいと思いますか。

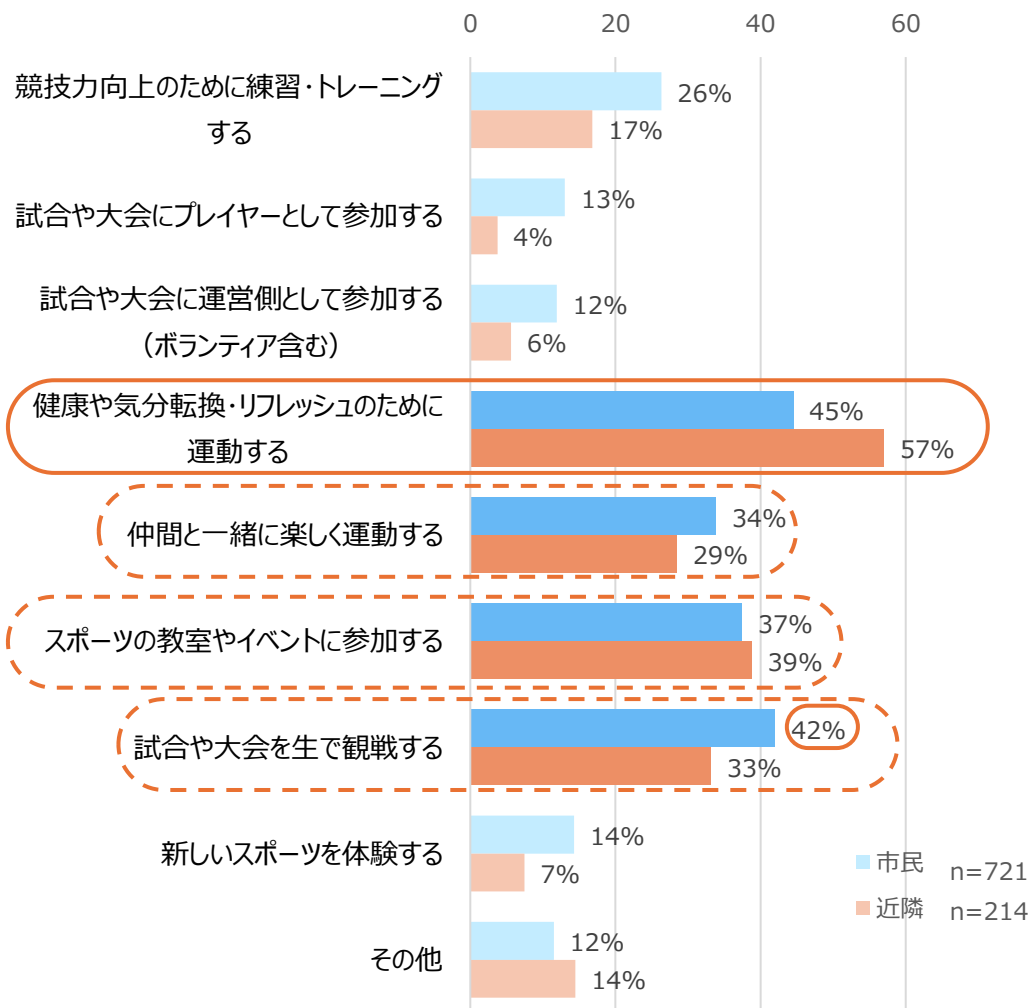


参考：アンケート調査結果概要

- 市民・近隣住民の
体育館利用ニーズ -

- “市民”は、**健康や気分転換・リフレッシュのための運動**が最多、**試合・大会観戦**も同程度多い
- “近隣”は、**健康や気分転換・リフレッシュのための運動**が“市民”より多い傾向
- ほか、“市民”“近隣”ともに**スポーツの教室やイベント参加、仲間と一緒に運動**が比較的多い

Q.新しい市民体育館でどのようなことがしてみたいと思いますか。（複数選択可）

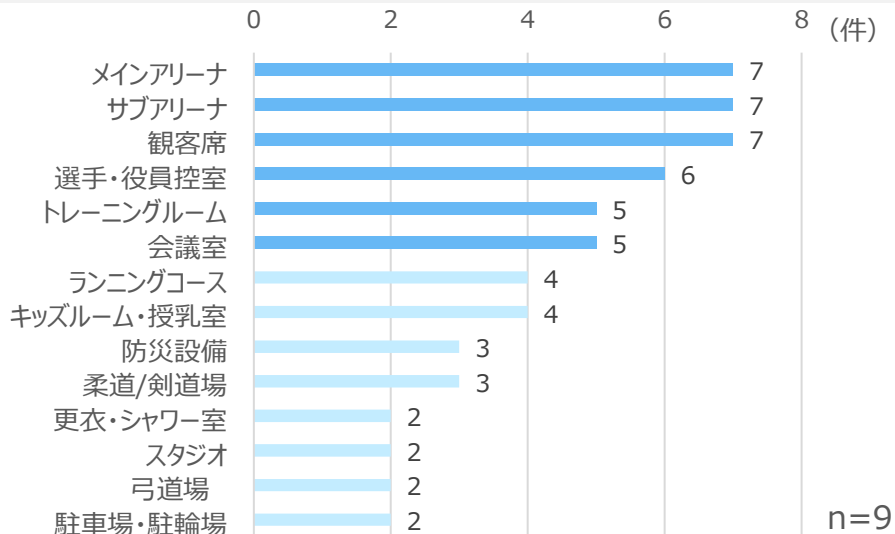


参考：アンケート調査結果概要

- 団体の体育館利用ニーズ -

- **メインアリーナ、サブアリーナ、観客席が最多**
- **選手・役員控室、トレーニングルーム、会議室と続く**
- **アリーナ規模は、各団体の大会や講習会等での利用を想定した要望**

Q.新しい市民体育館にどのような機能や施設があれば利用してみたいと思いますか。(複数選択可)



	規模の要望	利用想定
アリーナ	バスケットボールコート3面	ミニバスケット、中学生大会、高校生大会、一般成人大会、車椅子バスケ 等々
	バスケ3面メインアリーナ+ 1面サブアリーナ	各競技の大会、各競技団体の通常の練習、市民のスポーツ、レクリエーションの振興、災害時の避難場所等※
	バレーボールコート4面	熊谷市バレーボール連盟の行事（試合）
	バレーボールコート6面	中学、高校の関東、全国大会など開催できる規模
	バドミントンコート12面以上	県大会
	空手のコートが5面または7面	全国大会、s/jリーグ開催、バドミントン講習会、協会主催の大会
他	卓球台50台規模、3500人収容	空手道の大会、現在の体育館では5面がいいが規模によっては7面
	15M×30M規模の剣道場と柔道場、五人が射ることのできる弓道場、トレーニングコース等を含む観客席	市スポーツ協会及び中高校生の卓球大会、Tリーグ試合観戦等
	メインコートを囲む様に、トレーニング室、卓球室、武道場、スタジオ等あれば良い	同上（※）
		メイン会場は、中学の市大会、その他は、多様なスポーツ(ダンス、ヨガ、ピラティス、実践的健康教室等)

参考：アンケート調査結果概要

- 再整備計画に関する自由意見 -

Q. 今後の計画についてご意見やお気づきの点などがございましたらお聞かせください。(自由回答)

体育館に関する意見		具体の回答例
課題	トータルコスト	<ul style="list-style-type: none"> 今ある自然を残し、市民の為になる場所になるのであれば賛成できるが、負債だけが市民の負担になるのであれば必要ない。
	イニシャルコスト	<ul style="list-style-type: none"> 高額な建設費をかけて新しい施設は必要無い。 現体育館はまだ10年は使用可能である。
	ランニングコスト	<ul style="list-style-type: none"> 体育館については、将来の維持コストが大幅に増加するような大きな箱物を市民は望んでいないと思う。
	交通環境	<ul style="list-style-type: none"> イベント時など、駐車場への出入りの際、細い道を通行人や自転車が行き交う中、大型自動車同士がすれ違い、行き交うなど、駐車場の出入りがネックで利用を諦めることがあります。安全に車と人が利用できるよう、改善してほしいです。そしたらたくさん利用したいとずっと思っています。
	住環境	<ul style="list-style-type: none"> 小学校が近くにあるので、安全面で十分に配慮した施設の設置を検討していただきたい。
利用のあり方	市民利用の重視	<ul style="list-style-type: none"> プロのスポーツチームを誘致することよりも、市民自身が利用することに重点を置いた整備にしてほしい。
	スポーツ観戦/イベント開催	<ul style="list-style-type: none"> プロバスケットやプロバレーボールの観戦や音楽などのLIVEイベントが出来るアリーナを使って欲しい。
規模	現状維持	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化した市民体育館を改修するだけでいいと思います。わざわざ施設拡大する必要は感じません。
	規模拡大	<ul style="list-style-type: none"> 少なくとも近隣市と同等か、それ以上の施設を希望します。多額の予算がかかるかもしれませんが、熊谷市が誇れるものがなくなることは、熊谷市民の満足度低下にもつながり、結果的に都市間競争に負けることを意味すると思います。
新たな機能	トレーニングの場、多目的空間など	<ul style="list-style-type: none"> 体育館だけでなく、体を鍛える器具、会議室などを同じ建物内に設置することにより、さまざまな用途で、使用する機会が増えるのではないかと思います。
付帯機能	空調設備の改善	<ul style="list-style-type: none"> 先日、大会で体育館を利用しましたが、あまりの暑さで子供達が数人ダウンしました。子供達の体調を考え、早めに空調の効いたアリーナの建設をお願いします。
	駐車場の拡充	<ul style="list-style-type: none"> 体育館でのイベント開催時は周辺道路へ駐車する自動車が多いため、体育館の規模に応じた駐車場の整備が必要だと感じる。
その他	再整備不要・運営要望など	<ul style="list-style-type: none"> 体育館は別の場所に造ればいい。 市民が気軽に使える料金にして欲しい。

参考：アンケート調査結果概要

- 再整備計画に関する自由意見 -

Q.今後の計画についてご意見やお気づきの点などがございましたらお聞かせください。(自由回答)

公園に関する意見		具体の回答例
現況に関する意見	自然環境	<ul style="list-style-type: none"> 荒川公園に関しても木を切るのは一瞬ですがまた育てるとなると何十年という時間がかかります。春は桜、夏は大きな木陰、秋は色付いた銀杏の木と、自然を感じられる荒川公園を残して欲しいと切に思います。 現在のただコンクリートだらけの街はもううんざりです。自然と共存した街づくりを希望します。日本一暑い街、熊谷だからこそ自然を大切にして、緑豊かな街のモデルになってほしい。 近隣住民です。樹木の伐採を反対している方たちがいますが、樹木にも寿命もあり倒木の危険（何年前に都内の公園で事故もありました）があったり、落葉時期には掃除が非常に大変だったりします。活動している方たちにはそのような日常をよく知っていただき、鑑賞するだけではすまない樹木自然の管理の大変さを知っていただきたいです。時代に則した自然管理、都市整備を実現して欲しいです。
	既存施設の継承	<ul style="list-style-type: none"> SLは残して欲しい。 慰霊の塔は歴史を知る意味でも後世にのこす。
将来利用に関する意見	子どもの遊び場	<ul style="list-style-type: none"> 日常的に使える屋内の遊び場、屋内の公園があると、天気に関係なく、子供達があそべるのでよいと思います。 荒川公園を整備するのなら、噴水があった場所を生かして子供が遊べるじゃぶじゃぶ池を作って欲しいです。日本一暑い街でありながら子供の避暑地があまり無いのが残念です。 ボール遊びが自由にできる広場はなくさないでほしいです。今までのような広い敷地でのびのび遊べる公園を望みます。
	暑さをしのぐ屋根や水場	<ul style="list-style-type: none"> 夏の散歩中に暑さをしのげるように、木陰や雨宿りの出来る屋根のある場所が欲しい。 陽射しが強いので屋根があるデッキがあると休めるし、水場があると涼しいとおもいます。
	誰もが利用しやすい空間	<ul style="list-style-type: none"> 公園については、若年層や高齢者が利用しやすい環境・施設をアンケート結果により整備していけば良いと思う。 老若男女も障害ある人も区別なく有意義に過ごせる場所であるといいと思う。
	体を動かせる空間	<ul style="list-style-type: none"> 気軽に立ち寄り運動などができる。 年配者なので、散歩ができる、木陰で休めるベンチ、簡単に使える健康遊具等があればいいと思います。

参考：アンケート調査結果概要

- 再整備計画に関する自由意見 -

Q.今後の計画についてご意見やお気づきの点などがございましたらお聞かせください。(自由回答)

計画全体に関する意見	具体の回答例
立地の有効活用を求める意見	<ul style="list-style-type: none">・ 駅前の一等地という地の利を生かし、スポーツだけでなく、MICE誘致などにも利用できる施設にし、熊谷市の発展に繋げてほしい。・ 駅に近く荒川河川敷にも近い利便性をいかして熊谷市を元気にする施設にしてほしい。
早期整備を求める意見	<ul style="list-style-type: none">・ 公園と体育館のメリットを生かし早めの実現を目指して欲しい。・ できるだけ早く新体育館の建設を望みます。
再整備を期待する意見	<ul style="list-style-type: none">・ 再整備により、より良い環境になることを期待しています。・ 自治会主催の公園清掃活動の参加率は著しく低く、地域住民だけで今の公園を維持することは近い将来、困難となることが見込まれます。再整備により、新しい施設管理者と住民の協業により安定的に維持管理ができ、中心部の活性化につながることを期待します。
防災面での活用を求める意見	<ul style="list-style-type: none">・ 川と堤防が近く災害の時に避難できるようにしてほしいと思います。
防犯対策を求める意見	<ul style="list-style-type: none">・ 木々がうっそうと茂っているし、電灯も少なく防犯の面が心配。もっと明るいイメージの公園を期待したいです。
多世代利用を求める意見	<ul style="list-style-type: none">・ 幼児から高齢者までの市民が楽しく過ごせる場所。文化交流も望みます。・ 河川敷は景色もとても素敵なので子供から大人まで楽しめる空間になる事を楽しみにしています。
周辺まちづくりとの連携を求める意見	<ul style="list-style-type: none">・ 公園に隣接した駐車場は必要最小限にして周辺エリアとの人の回遊をデザインしていただきたい。用が済んだらそのまま車で他所に移動する人ばかりだと周辺の賑わいにつながらない。・ 荒川公園周辺整備計画は熊谷駅南口整備計画と一緒に考える（駅と荒川河川が近い立地を活用する）。

計画プロセスに関する意見	具体の回答例
計画の周知を求める意見	<ul style="list-style-type: none">・ 計画の途中経過を市民にもわかるように市報にも載せてもらいたい。
市民意見の反映を求める意見	<ul style="list-style-type: none">・ 市民の意見を取り入れて欲しい。一部の人の意見だけを、採用しないでほしい。

参考：利用シーンの抽出

利用シーン（共通）

①誰もが気軽に体を動かす



②居心地の良い空間でくつろぐ



③みんなで災害に備える



具体例（WS/アンケートより）

- ラジオ体操などの軽い運動をする
- 駅や川に近い立地を活かして散歩やジョギングで立ち寄る
- 障がい者にも優しい運用にして車いすバスケなどを楽しむ
- 地域住民や子ども、学生、スポーツ団体が日常的に使う
- 夜まで施設を開けて、仕事終わりに運動する
- 健康や気分転換のために運動する
- トレーニング器具を使って鍛える
- 仲間と一緒に楽しく運動する

- 居心地の良いところでおしゃべりをする
- ホールやカフェなど子連れでゆっくり待てる
- 陽射しや雨をよけられる屋根のある空間で子どもを見守る
- 芝生で寝転ぶ

- 公園にも体育館にも防災機能を設置して災害に備える
- 地震や火災があった時に逃げてくる
- 防災グッズ、災害対策用品等の保管する
- 防災機能を備えた駐車場で災害時にも安心して使える

参考：利用シーンの抽出

体育館

④ スポーツ教室に日常的に参加する



- スポーツ教室やイベントでスポーツに親しむ
- 部活動の練習場所として使う
- 新しいスポーツを体験する

⑤ スポーツ大会に出場する・サポートする



- 試合や大会にプレイヤーとして参加する
- 子どもや仲間の試合を応援する
- 試合や大会に運営側で参加する
- 試合や大会のボランティアとして活動する

⑥ スポーツ・イベントをみて楽しむ



- 県大会など大きな大会を観戦する
- プロスポーツの試合を観戦する
- 音楽ライブなどを観覧する

具体例 (WS/アンケートより)

参考：利用シーンの抽出

公園

具体例（WS/アンケートより）

⑦豊かなみどりに 囲まれ自然を感じる



- 自然や木々の美しさを感じる
- たくさんの緑に囲まれて過ごす
- 大きな木の下で涼む
- 将来のために新しい樹を育てる

⑧子どもが のびのびと遊ぶ



- 障がいの有無や年齢に関わらず遊具で遊ぶ
- ボール遊びが自由にできる
- 土、水、木など自然とふれあいながら遊ぶ
- 屋内の遊び場で天候に関わりなく遊ぶ

⑨季節感を楽しむ



- 親水スペースで涼む
- 暑さ対策も兼ねて夏に水遊びをする
- 花火、桜、夕日など四季折々の景色を眺めて癒される
- 広場空間を活かした市民イベントを楽しむ
- 桜祭り、うちわ祭、花火大会の時に公園に立ち寄る